

[報告]

令和元年度全国共同利用情報基盤センター顕彰について

第33回全国共同利用情報基盤センター長会議において、東北大学情報部情報基盤課小野敏共同利用支援係長及び森倫子ネットワーク係長に、令和元年度全国共同利用情報基盤センター顕彰「功績賞」を授与することが決定されました。本賞は、全国共同利用情報基盤センター及び国立情報学研究所の運用に顕著な貢献があった者に授与されるものです。

小野氏は平成9年に東北大学大型計算機センター（現・サイバーサイエンスセンター）に採用となり、その後22年余の永きにわたり、高性能計算に関する全国共同利用・共同研究拠点活動に係る利用支援、高性能計算基盤を活用した社会貢献活動に多大な貢献をされてきました。また、同氏は、日々の利用相談、定期的に行われる利用者講習会を企画し、センターの計算機サービスの質の向上に寄与しているほか、本学情報科学研究科、岩手大学によるグループ利用の環境構築、利用方法紹介、利用状況管理も担当し、利用率の向上に大きな成果をあげています。

森氏は平成4年に東北大学金属材料研究所に採用となり、その後、平成8年に同大型計算機センター（現・サイバーサイエンスセンター）に配置換えとなりました。配置換え後は、全学的な基幹ネットワークの業務を担当し、現在も情報シナジー機構のもと、全学的な情報化推進事業やセキュリティ検知・防御システムの仕様検討等にも中心的な立場として従事しています。また、同氏は、ホスティングサービス利用の増加に伴い、設備の増強に深く関わるなど、多岐に渡る業務を積極的に遂行し、本学の情報化推進に寄与しています。

以上のように、小野氏は全国共同利用の推進に、森氏はネットワーク関連業務の推進にそれぞれ永年にわたって尽力し、サイバーサイエンスセンターの円滑な運営に多大なる貢献を果たしていることが今回の受賞に至った理由となっています。

授賞式は、昨年11月6日（水）に開催された第34回全国共同利用情報基盤センター長会議・第30回学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点運営委員会合同懇親会の冒頭で行われ、両氏の他、3名の受賞者に表彰状と副賞（楯）が手渡されました。



『受賞者のコメント』

東北大学情報部情報基盤課（サイバーサイエンスセンター） 小野 敏

この度は全国共同利用情報基盤センター顕彰「功績賞」をいただきありがとうございます。今回の受賞は、計算機システムの運用に関わる教職員みなさまのご指導とご支援によるものと、心より感謝しております。引き続き、システム利用者みなさまに質の良いサービスを提供し、研究成果創出の一助となるように努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

東北大学情報部情報基盤課（サイバーサイエンスセンター） 森 倫子

この度は荣誉ある賞をいただき大変光栄に存じます。私がここまでやってこれたのも、ネットワーク係をはじめ情報基盤課、情報シナジー機構みなさま、TAINS を支えてくださっている部局みなさまのおかげで、大変感謝しております。この受賞を励みに今後とも TAINS の発展に貢献したい所存でございます。どうもありがとうございました。